

演習で使いそう・はまりそうな
文法メモ

文の構造

■ 順次実行

- if文の入れ子など複数の文の順次実行を書く場合は {} ではなく ()
- その途中の文には ; (セミコロンを打つ・if文の終わりであったとしても!)

```
(  
  if x = 1 and y <> 0 then (  
    z := 5;  
    if (a >= 0) then (  
      x := x + 1;  
      y := y + 1;  
    ) else (  
      x := x - 1;  
    ); -- ifelse文の終わり  
    p := true;  
  ); -- if文の終わり  
  method1(x, y);  
)
```

演算子・記号

■ 演算子・記号

- and/or/not はこの通りアルファベットで
- 等しい・等しくないは = と <>
- 代入文は :=
- 列挙型の値は <> で囲んで <WHITE> など

おまけ

- モードはtoken型（識別子を作る型）
 - return mk_token("REFIND_LINE") など
 - ここでは文字列を元に識別子を作っている
 - String id のようにプログラミング言語で書くと，「文字列型という実装上の型を実現手段に使った結果，概念上の型は識別子なのに，間違えて文字列の演算もできてしまう値」ができあがる
 - そうではなく，「識別子」を概念として区別して扱う型を提供している